

「島原半島つみやま街道〜歴史と水と温泉のまち〜」が 日本風景街道に登録されました！

日本風景街道「島原半島つみやま街道」は、長崎県の島原半島全域をエリアとして、国道57号、251号、389号の全長約194kmを主なルートとしています。島原半島は、中央部に雲仙普賢岳及び平成新山が聳え立ち、東は有明の海、西は夕日が映える橋湾、北側は干潟の諫早湾と、周囲を海に囲まれており、自然豊かな景観を楽しむことができます。

風景街道とは

住民・NPO・企業などが主体となって行政と連携しながら、道を舞台に風景や自然・歴史・文化など、地域ならではの資源を生かした「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」や「観光の振興」を行っていく取り組みです。それぞれの活動を活発にすることで、にぎわいや元気のある地域を目指します。



ユネスコ世界ジオパークとしての島原半島

平成21年8月に日本第1号の「世界ジオパーク」として認定された島原半島は、自然の驚異、偉大さを感じながらも、島原市内の湧水を活かしたまちづくりや雲仙温泉や小浜温泉等の自然の恩恵を受けた人との共生を感じることができます。



世界文化遺産としての島原半島

平成30年7月に世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産である原城跡をはじめとして、歴史・文化資源も多数存在しており、島原半島において人々が紡いできた歴史・文化を体感することができます。



●島原半島のみどころ

歴史・文化、景色、体験など魅力の一部をご紹介します

島原市



島原城

松倉豊後守重政が1618年(元和4年)から7年の歳月をかけて築きました。キリシタン史料や郷土史料、民俗史料などを展示しています。



かんざらし手作り体験

白玉をコロコロと手で丸めて、ゆで、島原の湧水で冷やす。蜜をかけるとかんざらしの出来上がり。「しまばら湧水館」で体験ができます。

雲仙市



仁田峠展望台

四季折々の美しい景観と、雲仙普賢岳の噴火によって新しくできた日本で一番新しい山「平成新山」の雄大な景観を間近で望むことができる絶景スポットです。



ほっとふつと105

小浜温泉街にある日本一長い105mの足湯。腰かけて海に沈む夕日を眺めながら入ることができます。施設内の蒸し煎餅は無料で利用できます。

南島原市



海水浴場

白砂青松が美しい前浜海水浴場と白浜海水浴場があります。例年多くの海水浴客で賑わいます。



島原手延そうめん

南島原市はそうめんの生産量全国第2位を誇ります。ツルツルシコシコの喉越しの良い食感が特徴です。

●組織づくり

島原半島つみやま街道を活用した取り組みを推進するため、地域で清掃やガイド等の活動を行っている団体の代表者、国・県・市の関係機関及び有識者をもって構成する推進協議会や地区協議会を定期的に開催するほか、地域間相互のネットワークを構築し、イベント開催や情報発信において連携を図りながら活動を進めます。

●活動のねらい

島原市、雲仙市、南島原市の連携強化のため、市域を越えたネットワークを構築し、各々の活動の活性化を促します。そこで磨かれた「地域資源」を「道」で繋ぎ、魅力的な風景街道を創成することにより、島原半島全体の地域活性化、観光振興に寄与することを目指します。

●「個々の地域資源」を磨く

島原半島の良質な自然・景観資源の保全や魅力の向上のため、清掃活動や花植え、ピュースポットの整備を進めます。

また、島原半島の奥深い歴史や文化の魅力を感じてもらうためには「来て、見る」だけでなく「聞いて、触れて、食す」が重要なため、ガイドや語り部、体験内容の充実を行います。

●「個々の地域資源」を道で繋ぎ「ルート」へ

個々の地域資源を道で繋ぎ、市域を越えた島原半島ならではのテーマを持たせたグリーンツーリズム、インフラツーリズム、ジオツーリズムなど新たな観光ルートや観光ツアーを検討します。



▲土木遺産バスツアー(北有馬町元平橋)



▲ジオサイトの龍石海岸



▲ありえ蔵めぐり